

2021年度 武蔵浦和日本語学院 第三者評価委員会 報告書

武蔵浦和日本語学院 学校評価特別委員会
委員長 殿

第三者評価委員会

今般、武蔵浦和日本語学院に関する学校評価報告書を吟味し、学院の運営状況について意見を述べさせていただきます。

当事業年度における日本の状況は新型コロナウイルス感染症の流行で数度の緊急事態宣言が発令され経済活動に制限が加わり、飲食業をはじめ教育業界もこれまでに経験のない状況に置かれました。外国からの厳しい入国制限のもとほとんどの留学生が入国することができず、対面事業もできない厳しい環境が続きました。一方で4年4月になると留学生の入国が緩和され明るい兆しも見え始めています。

新型コロナウイルス感染症の影響で事業計画の見直しがあり、学生数の変化などの影響が出ています。その中でも、課題を的確に解決していっていると受け取れます。

今後も継続して自己評価を実施していただき、しっかりと議論を通じて健全運営をされることを望みます。

1. 学校の組織運営の状況について

項目	意見等
・学院長など管理職は、適切にリーダーシップを発揮し、他の教職員から信頼を得ているか ・校務分掌や主任制が適切に機能するなど、組織的な運営・責任体制が整備されているか	適切なリーダーシップをとっていると思われます。 業務分掌を構築し、組織図も必要に応じ更新しており、組織として熟成が進んでいると思われます。一方で担当者の入れ替えもあるため、適切な引継ぎと業務実施の検証も必要であると思われます。
勤務時間管理やサービス監督が適切に行われているか	新型コロナウイルス感染症の影響による対応も多くなっており、個々の担当者の負担が多くなっているため、業務の調整を確実にできるようにすべきと考えます。
危機管理やリスク管理、情報管理等の方針が示され、関係者に周知されているか	教職員が多くなってきたこともあって情報管理についてはこれまで以上に管理を確実にやる必要があります。2022年度については新型コロナウイルス感染症の対応も引き続き必要であり、これまで以上のリスク管理が必要と思われます。
ハラスメント規程等の整備を進め、研修等を通して周知がされているか。	新たにハラスメント規程等を整備しました。研修を通してその理解と対応についての確に実施できるようすべきと思われます。

2. 学校と設置者の連携の状況

項目	意見等
・設置者が明確な教育方針等を示し、それ	適切に実施されている。

に基づいて教育活動その他の学校運営を行うよう指導しているか ・設置者の示す明確な教育方針等に基づいて教育目標を設定し、教育活動その他の学校運営を行っているか	
---	--

3．目標設定と自己評価の状況

項目	意見等
学校の状況を踏まえ重点化された中・短期の目標が定められているか	具体的な目標を設定しています。
・自己評価の結果が具体的な学校運営の改善に活用されているか ・自己評価が組織的に実施されているか	自己評価に対しての議論もできています。組織的に実施できていると思われます。

4．学校関係者評価の状況

項目	意見等
・学校関係者評価が自己評価の結果を踏まえて実施されているか ・学校関係者評価のための体制は適切か	適切に実施できているものと思われませんが、学校を取りまく環境も変化してきているため、丁寧な説明を実施するようにすべきと思われます。

5．教育課程等の状況

項目	意見等
学校の教育目標を踏まえて教育課程が編成・実施され、その考え方について教職員間で共有されているか	適切です。

6．授業の状況

項目	意見等
発問、板書、指名など、各教員の指導性が各教科の授業において適切に発揮されているか	対面授業については十分にできています。2021年度は対面授業が困難になりオンライン授業を引き続き実施する必要があります。体制・設備の充実をさらに図るべきと考えます。
個別指導や習熟度に応じた指導、補充的な学習や発展的な学習など、個に応じた指導が適切に行われているか	十分にできています。しかしながら、学生のニーズも多様化してきているため、目が行き届かないケースもでてきているかと推測されます。確実な指導ができるよう、検証していただきたいと思います。
チーム・ティーチング指導などにおいて、教員間で適切な役割分担がなされているか	十分にできています。
聴覚教材や教育機器、コンピュータや情報通信ネットワークを効果的に活用した授業が行われているか	ICT教育については十分ではないようです。E-learningを補助的に活用することも含め早急な検討が必要かと思われます。新型コロナウイルス感染症の影響下においては、対面教育が限定されるため、学生へ教育効果

	を高めるためには新たな指導法の開発、ノウハウを蓄積する必要があると思われます。
・授業研究を全教員が行うことや、授業研究を継続的に実施することなどを通じ、授業改善に全校的に取り組んでいるか ・校内研修の課題が適切に設定され、実施されているか	反転授業やアクションラーニングなどといった研究も進めていて取り組みが適切になされていると考えます。そのうえで、昨年度同様オンライン授業への取り組みも研究課題として設定して検討していただければと思います。
学院長等の管理職が定期的に授業観察を行い、教員に対して適切な指導・助言をしているか	十分できているといえます。教務主任が中心になって、新人講師の研修にも力を入れていることがわかります。

7. 学生指導・管理の状況

項目	意見等
学校の教職員全体で学生の状況についての理解を共有し、生徒指導に取り組む体制が整備されているか	ミーティングで個々の学生の出欠状況・学習状況について把握されています。
生徒の問題行動の状況を共有し、適切に対処できているか	本国の親とも連絡を取って適切な対応をしています。
保護者と連携協力して、基本的な生活習慣を身につけた学生を育成するための指導を行っているか	学校全体として実施しています。
日常の健康観察や、疾病予防、生徒の自己健康管理能力向上のための取組、健康診断が適切に実施されているか	学校全体として実施しています。新型コロナウイルス感染症対応については保健所等との連携で適切な対応を実施しています。
学校事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等が作成され、活用されているか ・法定の学校安全計画や、学校防災計画等は作成・実施されているか ・校舎や通学路等の安全点検や教職員・生徒の安全対応能力の向上を図るための取組が定期的に行われているか	BCP計画を作成して対応しています。時々自主的な訓練もしてはいかがでしょうか。テレワーク実施態勢も整備してきました。BCP計画に、新型コロナウイルス感染症対策の項目も盛り込み、検証作業を適時すべきと思われます。

8. 学校に対する児童生徒・保護者の意見・要望等の状況

項目	意見等
生徒・保護者の学校への満足度や要望を把握するための取組を行っているか	学生へのアンケートを取って分析しています。
生徒・保護者から寄せられた具体的な意見や要望に、適切に対応しているか	十分に対応しています。
学校便りや学級便りの発行など、主として保護者を対象とした情報の伝達・公開が適切に行われているか	実施しています。
ホームページに校長名、学校の所在地、連絡先、学級数、児童生徒数、教育課程などの基本的な情報が提供され、情報が定期的に更新されているか	実施・更新されています。